

事業番号 1

事業名 独立行政法人国際協力機構運営費交付金(技術協力)

集計結果

- | | |
|---------------|----|
| ・ 現状通り | 1名 |
| ・ 事業内容の一部改善 | 4名 |
| ・ 事業全体の抜本的な改善 | 1名 |
| ・ 廃止 | 名 |

取りまとめ結果及びコメント

◆現状通り

◆事業内容の一部改善

◆事業全体の抜本的な改善

◆廃止

●一般論として、評価においてより一層透明性を確保し、外部からの視点を取り入れ、PDCAサイクルの強化に努めるべき。

●評価結果を今後の事業にどのように生かしていくかについてのルールを検討すべき。またナレッジ教訓がどのように活用されているのか、可視化を進めていくべき。さらに、妥当性・インパクト・持続性については政策立案段階の問題であり、立案者の人事評価に反映すべき。

●外部評価者による評価について、例えば開発コンサルタントのみならず、コンサルタントと大学・NGO等がパッケージで受注する仕組みを取り入れる、また途上国側の参加、OECD DAC以外の評価基準を取り入れる等して、より専門的・多様な視点が反映されるようにすべき。